

気になる今後のまちづくり

町政を問う!

A woman with short dark hair and glasses, wearing a white blazer over a patterned top, is speaking at a podium. She is looking slightly to her left. A microphone is positioned to her right. The background consists of wooden paneling.

御手洗 寿乃 議員

町長の指導力を問う

非線引きの方が良い

須恵町の都市計画区域は、非線引区域です。

その非線引区域のなかで須恵中央駅周辺、九州自動車道の隣接地は、住宅地として用途地域に組み入れるべきではないかと考えます。

したがって、農用地も含めて、市街化区域・市街化調整区域に指定して

時代に即応した新規住宅地の形成が必要ではないかと思います。

これには町民の方の理解と協力が必要となりますが、町長の指導力が問われます。

町長のお考えを。

■ 答 吉松まちづくり課長

本町の都市計画につきましては、町全体を非線引き都市計画区域としています。

線引きを行わず、将来の住宅整備や商工業用地の開発などを行いやすくすることを目的としています。

平成16年5月に福岡県が決定した都市計画区域の整備等の中で、須恵都

規模の潜在能力をもつ目市計画については、一定の整備等の中では、一定の安として10万人を下回つており線引きの必要性は



庁舎から見る「須恵中央駅周辺」

■ 市街化区域・市街化調整区域を指定することによって、土地の利用が限定されます。

答 中嶋町長

This photograph captures a panoramic view of a residential neighborhood in Japan. In the foreground, several modern apartment complexes with multiple stories and balconies are visible. The middle ground shows a dense cluster of smaller houses with traditional tiled roofs. In the background, a range of mountains is visible under a clear, pale blue sky. The overall scene is a mix of urban and rural elements.

線引きすることは、土地の資産評価が下がったり、土地利用に規制がかかりたりするので、地権者、町民の理解なしでは容易にできないとも思っています。

本町にとつては、農振地域、市街化区域、調整区域に分けるよりも、非線引きの方がいいという判断です。

線引きすること

A photograph taken from a building's roof, showing a street scene with cars, a bridge, and a sign for 'Kita-Kitanomachi Station'. The image captures a mix of urban infrastructure and greenery, with buildings, roads, and a railway bridge visible.

線引きすることは、土地の資産評価が下がったり、土地利用に規制がかかりたりするので、地権者、町民の理解なしでは容易にできないとも思っています。

本町にとつては、農振地域、市街化区域、調整区域に分けるよりも、非線引きの方がいいという判断です。

(平成22年11月5日発行) すえまち議会だより No.174

(平成22年11月5日発行) すえまち議会だより No.174

答
・畠山長

■ 答
口
嶋
田
昌

災害時の災害弱者への対応は 支えます

A portrait of a woman with dark hair, wearing a white blazer over a pink dress. She is smiling and standing behind a podium with a microphone.

今村 桂子 議員

問

水害・地震などの災害時には地域の共助が欠かせませんが、近所付き合いが希薄になり、プライバシーの問題もでてきました。

行政として、災害弱者に対する災害時の対応、各区に対する働きかけやサポート体制はどうなっていますか。

サポートが必要な体の不自由な方や独居老人の数は。

それらの方々は、災害時の対応をどうように考えていらっしゃいますか。

プライバシー保護で情

The image is a composite of three photographs. The top left shows a person speaking at a wooden podium with a microphone. The bottom left is a text box containing a speech by议员今村桂子. The right side shows a blue rectangular signpost labeled '避難場所' (Emergency Shelter) and 'アザレアホール' (Azalea Hall), which is also a '健康広場' (Health Plaza). The sign is located on a sidewalk next to a road with utility poles and buildings in the background.



災害時の「避難場所」案内板

達や避難支援等を受けられる体制の整備は、絶対に必要です。

また、個人情報等の問題がありますので、登録制にして区長さんや消防団等も把握する状況を作らなければならぬと思います。

老人の給食サービスで見守りをやっていますが現在61名の方が宅配サービスを利用されています。

また、安全センターの緊急通報システムを80名が利用されています。

現在、災害要支援者の支援計画の策定に着手しています。現時点では、登録制をとる必要があると思っています。

継続的組織につきましては、福祉、防災などの縦割りでなく総合的な形で一本化したものを作る必要があると思っています。

(平成22年11月5日発行) すえまち議会だより No.174